

# 光学式液体アナライザー

## Optical Liquid Analyzer (OLA)

S012

あらゆる溶液の成分分析が、これ一台で完結する小型近赤外分析装置



装置形状は予告なく変更になることがあります。

### 応用範囲

- 生乳中の一般成分定量
- 各種懸濁液中の成分分析
- 酒類のアルコール濃度を含む成分の定量
- 食品出汁や植物エキスの成分分析
- 検査試験管のオーバーラッピング検出
- ルーチン分析中の異常値の検出 など

### 特徴

#### 超ワイドレンジモバイル近赤外分析計

- 特殊光学系によりこの装置一台で、光散乱がほとんどない清澄液から光散乱が大きい懸濁液のスペクトルを取得可能
- 測定セルに市販の試験管を採用により経済性を提供
- 試料を光学セルへ移すわずらわしさを軽減し、スペクトル取得後そのまま化学分析へも移行可能な操作性を提供。(ウォーターバスによる試料の温度調整も容易)
- 非破壊で複数の成分を同時に迅速分析可能
- USB接続でPCと、Bluetooth接続でモバイル端末機でスペクトル取得

測定例

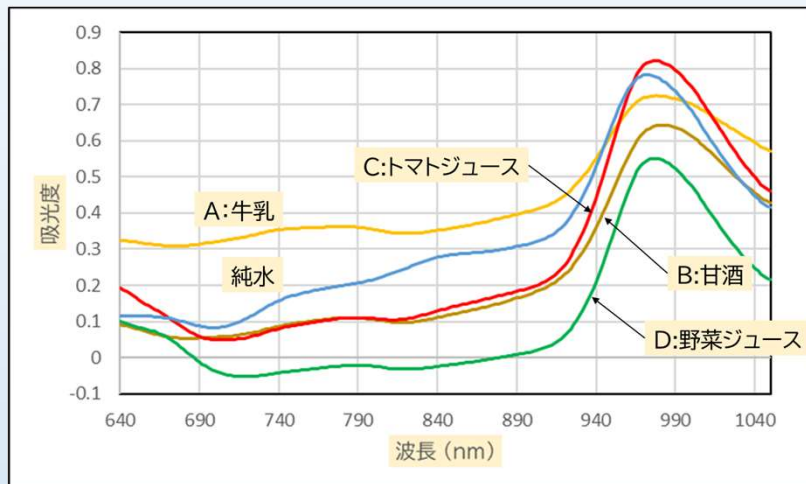
光散乱状態の異なる5液状試料のスペクトル測定



A B C D 純水

測定試料

A:牛乳、B:甘酒、C:トマトジュース、D:野菜ジュース、純粋



測定試料吸光度スペクトル

異なる種類の液体(牛乳、甘酒、トマトジュース、野菜ジュース、純水)のスペクトルに明らかな違いと共に得られました。このことより、本装置1台で幅広い光散乱状態の液体の測定が可能であることが示されます。

液体試料の成分分析を行う際に試料のもつ光散乱状態により測定法を選択する必要がなく、本装置一台で液体試料測定が完結されます。

仕様

使用試料量	約10ml
利用試験管	リム付き試験管(TST-SCR16-100)
波長範囲	640~1050nm
検出器タイプ	近赤外分光器(回折格子型)
波長分解能	15nm(max.)
駆動電源	バッテリー電源5V
出力表示	波長、光強度、吸光度、吸光度SNV、1次微分、2次微分
制御方式	本体ボタン又はUSB/Bluetoothによる遠隔制御
データ転送	USB又はBluetooth経由
使用温度	5~35°C、相対湿度30~80%(結露無き事)
寸法(W×D×H)	66×122×160mm

※)仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。

構成

1. S012本体
2. PCソフトウェア
3. ACアダプタ
4. USB-A to Mini-B
5. バッテリー充電器

オプション

- ・ モバイル端末機

ソフトウェア

- 露光間隔及びゲイン等の測定条件の設定
- 計測結果のリアルタイム表示
- 計測データのCSV保存
- モバイル端末機により現場で推定値を取得が可能

成分分析値と測定スペクトルより検量モデルの作成も請け負います。

使い方は自由！可能性は無限！

